

ハウスの こころ



2025年3月期 2024年4月1日→2025年3月31日

株主のみなさまへ

当社グループは2024年4月より第八次中期計画をスタートしております。今回の中期計画では、スパイス系バリューチェーン(以下「VC」)、機能性素材系VC、大豆系VCの3VCが、各々に国内外の境なくグローバルなVC構築を進めて行くことに取り組んでおり、特にグループ本社とハウス食品が一体となってグローバルなスパイス系VCのマネジメント体制を強化することに注力しております。

その初年度となる当期は、前期に続く原材料価格の高騰や円安の更なる進展により事業コストが大きく上昇する中、ハウス食品やハウスギャバンを中心とする香辛調味加工食品事業が、前期に行った価格改定の市場定着に努めるとともにコストダウンの取組みも奏功し、グループ全体の業績を牽引して連結業績は営業利益ベースでは増収増益を確保しました。一方で2022年9月にグループ化したアメリカのPBF事業会社のキーストンナチュラルホールディングス社の業績低迷によるのれんの減損損失発生や前期に計上した退職給付制度改定益の反動などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、当初計画通りの1株につき24円とし、中間配当とあわせた年間配当は48円といたしました。

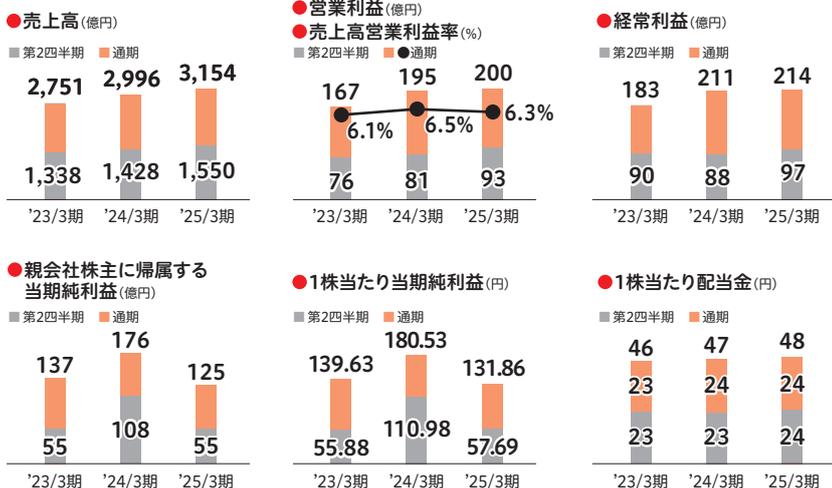
株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長

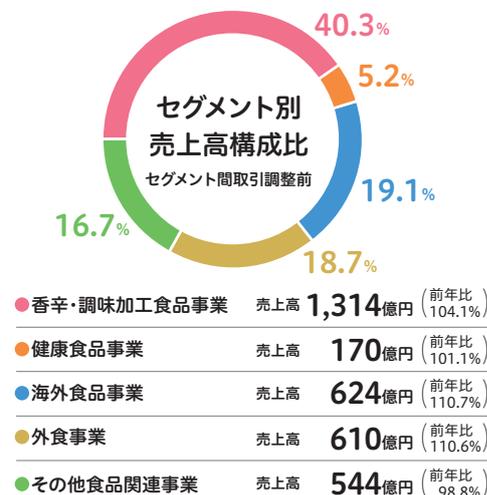
浦上 博史



連結業績ハイライト



セグメント別業績ハイライト



※ 利益配分の基本方針を総還元性向40%以上、年間配当は1株当たり46円以上を安定して継続配当することとしております。(第八次中期計画期間は、政策保有株式縮減を原資とした自己株式取得を進めることから、総還元性向50%以上をめざす。)なお、25.3期に実施した自己株式取得(2,252千株、60億円)を踏まえた総還元性向は84.4%となります。

チャートジェネレーター



ハウス食品グループの外食事



CURRY HOUSE CoCo 壱番屋

2015年に壱番屋がハウス食品グループに加わり、「カレーメーカーのハウス」と「カレーレストランの壱番屋」というそれぞれの領域のトップクラス企業が手を組むことで、カレーの世界を広げ、お客様への更なる「おいしさ」「感動」を提供しております。

壱番屋の創業

壱番屋の原点は、創業者・宗次徳二氏と直美氏が営んでいた喫茶店「バッカス」で出前のメニューとしてはじめたカレーライスです。毎日食べたくなる、家庭料理のように親しみやすい一皿が評判となり、カレーハウスCoCo壱番屋は誕生いたしました。



1978年にオープンしたココイチ1号店の西枇杷島店(愛知県清須市)

ココイチの強み

社員独立制度による 着実なフランチャイズ展開



店舗運営を一から学び、経営能力を身につけた人材が独立資格を取得できる、独自の社員独立制度(ブルームシステム)を開発。運営ノウハウや壱番屋の理念を共有し、独立後も日々それらを実践することで健全な経営を継続しております。



組み合わせ自在の オーダーメイド カレー

ポーク、ビーフ、甘口ポークなど5種類のソースに、辛さ、トッピング、ご飯の量のカスタマイズが可能で、その組み合わせは12億通り以上です。「こんなカレーが食べたい」というお客様の声にお応えし続けた結果、現在の種類豊富なメニューが生まれました。

いつもの味をいつもお届け するためにカレーソースを 自社工場で製造



ココイチのカレーは、毎日食べても飽きが来ない、家庭の味を思わせる味。老若男女問わず愛されるその味を、ぶれることなく守り続けるため、壱番屋自社工場(栃木・佐賀)で大切に生産し、安心・安全と安定供給に責任をもって、同社で管理しております。

業展開

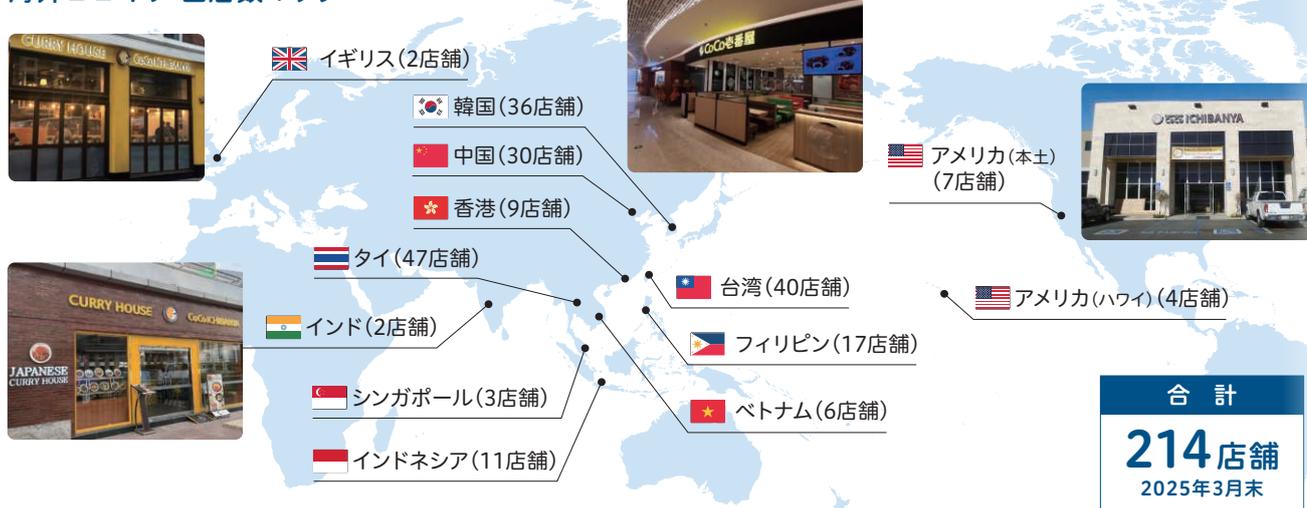
世界へ広がる 外食事業

ココイチは12の国と地域、214店舗まで店舗を拡大しております。国によって異なる食習慣に配慮しながら、世界のみなさまに日本式のカレーを提供しており、2020年に進出したインドの店舗では、ベジタリアン・ノンベジタリアンそれぞれのメニューを取り揃えております。

2023年9月に outlet したアメリカ本土で初めてのFC店舗(フリスコ店)



海外ココイチ 出店数マップ



新たな業態の 育成・展開

国内においては、M&Aを活用して新しい業態にもチャレンジしており、2020年12月には初のM&A案件として北海道で「旭川成吉思汗(ジンギスカン)大黒屋」を展開する大黒商事をグループに迎え入れました。

その後、壱番屋が持つチェーン展開ノウハウを活用し、2023年に東京、2024年に愛知へ進出いたしました。今後も「食のエンターテインメント企業」を目指し、さまざまなジャンルで「食の楽しさと感動」をご提供できるようチャレンジを続け、外食企業グループとして更なる成長・発展を目指してまいります。

M&Aを活用した新しい業態へのチャレンジ



旭川成吉思汗
(ジンギスカン)大黒屋



麺屋たけ井



博多もつ鍋 前田屋



極濃豚骨
らーめん小僧

■ 株主総会



株主総会の資料です。



■ 第八次中期計画



2025年3月期～2027年3月期の中期計画の説明資料です。



■ 決算説明会



決算説明会の資料です。



■ 統合レポート



当社グループの全体像や企業価値創造に向けた戦略、ガバナンス体制などについて総合的に記載した書類です。



■ 株主還元・株主優待



配当の考え方や優待制度をご案内しています。



■ サステナビリティ



当社のサステナビリティに関する考え方をご案内しています。



株式に関するお手続きのお問い合わせ先

お手続き内容	口座の種類	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続		口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031
支払期間経過後の配当金に関するご照会			
株式事務に関する一般的なお問い合わせ			

* 株券電子化実施（2009年1月5日）に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

株式に関するその他のお問い合わせ先

ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 電話06-6788-1214
受付時間 平日9時～17時(夏期休暇・年末年始休暇および創業記念日(11月11日)を除く)

ハウス食品グループ本社株式会社
[証券コード：2810]

〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
<https://housefoods-group.com>

